

珠算教室

2月9日（木）10日（金），珠算教室を行いました。講師に珠算ボランティア協会の三村政美先生をお迎えし，そろばんのしくみや簡単な計算のしかたなどについて学びました。



「ねがいはしては〜」「ご明算！」そろばん独特の言い回しの言葉も飛び交って，授業は進んでいきます。そろばんを扱うのがはじめて，という子どもどんどん指の動きが速くなっていきました。



小数の計算や大きい数もそろばんを使って計算できることを学びました。その時の注意点は，一の位の定点を左の人差し指で押さえておくこと。位の読み間違いを防ぐようです。



繰り上りや繰り下がりも学びました。そして、読み上げ算にも挑戦しました。そろばんを使わず暗算でやることもあるそうですが、今回はそろばんを使って計算をしました。たくさん数を加えたり引いたりして、答えを出します。3人ともそろばんを使ってすらすらと計算ができるまで上達しました。



最後に、そろばんの歴史を学びました。約3000年前にメソポタミア地方に住む人達が計算道具として「砂そろばん」を使い始め、そこから現代と同じようなそろばんに改良されたようです。



そろばんはとても便利な計算道具ということが分かり、3年生も、

楽しい、もっとやりたい

と言っていました。授業は3時間で終わりですが、これからも学校でそろばんを使う機会を作っていきたいと思います。

三村先生、丁寧に教えていただきありがとうございました。